

平成17-19年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)

子どもの心の診療に携わる 専門的人材の育成に関する研究

主任研究者 柳澤正義
(日本子ども家庭総合研究所)

わが国の子ども達の置かれている状況

社会の変化

- 都市化
- 核家族化
- 高度情報化
- 価値観・生活様式の多様化

- 経済状態の向上
- 環境衛生の向上
- 医療保健福祉の向上
- 国民皆保険

人口動態の変化

- 低い出生率
- 低い死亡率
- 疾病構造の変化
- 突然死、事故死の相対的増加
- 少子高齢化
- 人口減少社会

子ども達の生活の変化

- テレビ・ビデオ・コンピューターゲーム
- 携帯電話・電子メール
- 塾・習い事
- 戸外遊びの減少
- 年齢の異なる子ども達のグループ遊びの減少
- 孤食

家庭・地域・学校の変化

- 家庭の育児機能の低下
- 地域の育児・教育機能の低下
- 学校の教育機能の低下

- 子ども達の心と体の危機
- 親子の心の問題、虐待の増加

子どもの心に影響する多様な問題の増加・深刻化

- 不登校、ひきこもり、いじめ、学級崩壊、家庭内暴力、拒食、自傷、自殺、薬物依存、非行
- 気になる子どもの増加
発達障害(広汎性発達障害、注意欠陥／多動性障害、学習障害)
- 子ども虐待の激増

子どもの心の診療を専門的に行うことのできる
医師や医療機関は限られている

厚生労働省
「子どもの心の診療医の養成に関する検討会(平成17・18年度)」
検討会報告書(平成19年3月)

「子どもの心の診療医」

子どもの心の問題の診療に携わる小児科医および精神科医をその診療の範囲や専門性の深さにかかわらず「子どもの心の診療医」と通称

三つの類型に分類

- ①一般の小児科医・精神科医
- ②子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医
- ③子どもの心の診療に専門的に携わる医師

それぞれの教育・研修体制、到達目標、テキスト作成の提案

子どもの心の診療医のイメージ

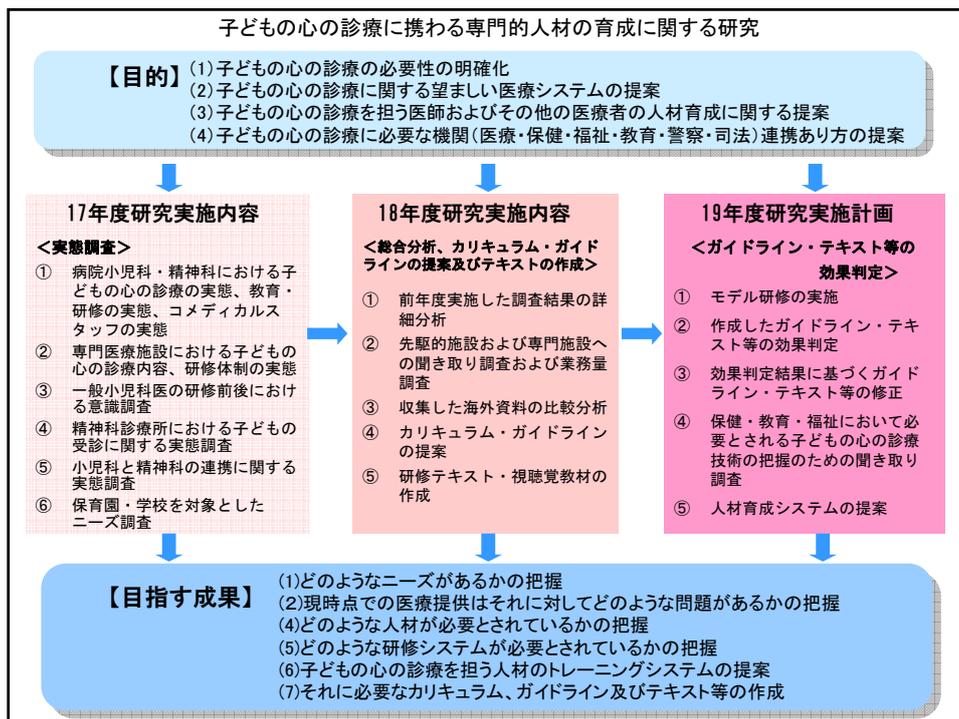
心の問題をもった子どもと家族



- ※1 卒後臨床研修後、小児科や精神科の一般的な研修を修了し、一般的な診療に携わる医師
 ※2 上記1を経て、さらに子どもの心の診療に関する一定の研修を受け、子どもの心の診療に定期的に行っている医師
 ※3 上記1又は2を経て、子どもの心の診療に関する専門的研修を受け、専ら子どもの心の診療に携わる医師
 「子どもの心の診療医の養成に関する検討会」検討会報告書（平成19年3月）

平成17-19年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業） 「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」 研究組織と分担研究課題

柳澤正義	日本子ども家庭総合研究所	研究の総括
牛島定信	東京女子大学文理学部心理学科	精神科を基礎とした医師で子どもの心の診療を行う医師の育成に関する研究
奥山真紀子	国立成育医療センターこころの診療部	小児病院における子どもの心の診療を行う人材育成とチーム医療や連携に関する研究
齊藤万比古	国立精神・神経センター国府台病院	子どもの心の入院診療を行う専門的人材の育成に関する研究
庄司順一	日本子ども家庭総合研究所	子どもの心の診療に携わるコメディカルスタッフの育成に関する研究
星加明徳	東京医科大学医学部小児科学	大学病院小児科における子どもの心の診療のあり方と人材育成に関する研究
保科 清	医療法人財団順和会山王病院	子どもの心の診療ができる一般小児科医の育成に関する研究
穂積 登	穂積クリニック	子どもの心の診療ができる一般精神科医の育成に関する研究
宮本信也	筑波大学大学院人間総合科学研究科	小児科と精神科の連携及びその有効な育成のあり方に関する研究
吉田敬子	九州大学病院精神神経科	大学病院精神科における子どもの心の診療のあり方と人材育成に関する研究
加藤明美	あいち小児保健医療総合センター看護科	子どもの心の診療に携わる看護職の育成に関する研究



調査・研究内容

- 子どもの心の診療のニーズに関する実態調査
- 各種医療機関における子どもの心の診療体制、教育・研修体制の実態調査
- 「子どもの心の診療医」の養成・資質の向上に向けての提言
 - ・ 一般小児科医
 - ・ 一般精神科医
 - ・ 専門性を有する小児科医・精神科医
 - ・ 「子どもの心の診療専門医(仮称)」制度の構築
 - ・ 欧米における小児精神科医養成システム
- テキストの作成とモデル的研修の実施
- 看護・コメディカルの養成に関する提言

研究の歩み

平成17年度

- ・ 子どもの心の診療体制、教育・研修体制の多面的実態調査
- ・ 子どもの心の診療のニーズに関する実態調査

平成18年度

- ・ 実態調査データの詳細分析
- ・ 先駆的施設・高度専門施設での研修体制
- ・ 欧米での小児精神科医養成システム
- ・ 看護・コメディカルの教育・研修体制
- ・ 研修テキストの企画・編集

平成19年度

- ・ モデル的研修の実施とテキストの活用
- ・ 各レベルの専門的人材の短期・長期の教育・研修体制のあり方の提案
- ・ 「子どもの心の診療専門医(仮称)」制度の構築に向けて行程表、基礎的構造設計

子どもの心の診療に関するニーズ 全国保育園、小・中学校での実態調査

全国の保育園、公立小・中学校の各20%を無作為抽出

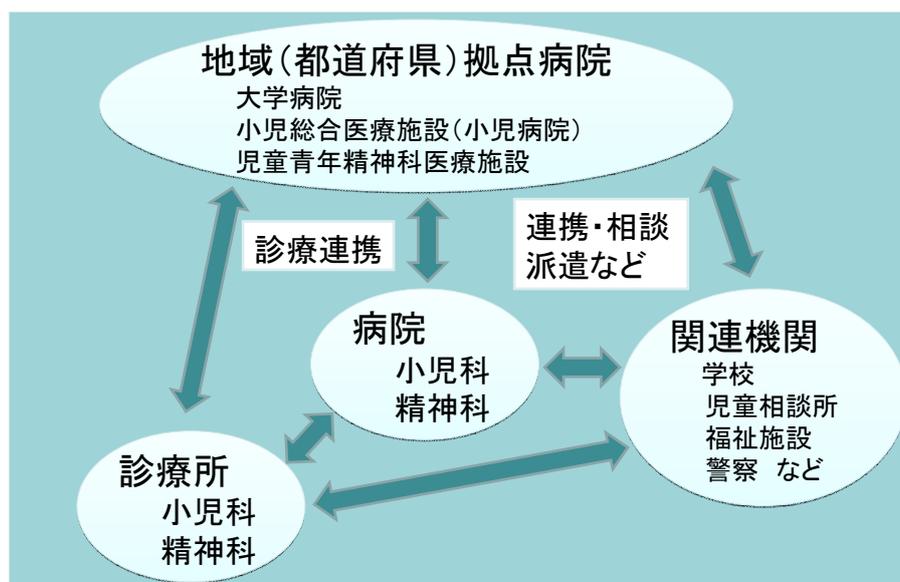
	対象数	回収率	子どもの精神的問題への対応経験	対応が必要となる精神的問題をもつ子どもの頻度	医療機関を受診させた子ども
保育園	4,200	44.8%	78.1%	4.57%	15.9%
小学校	4,495	54.7%	81.0%	2.96%	14.5%
中学校	2,018	57.9%	88.7%	4.08%	12.3%

平成17-19年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）」

子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成における課題と提案

- 卒前教育・卒後臨床研修・後期(専門)研修の充実
- 小児科医の生涯教育
- 開業精神科医の生涯教育
- 大学病院における子どもの心の診療部門の設置
- 小児総合医療施設における心の診療・研修体制の充実
- 児童青年精神科医療施設における研修体制の充実
- 小児科と精神科の連携
- コメディカル・スタッフの養成、特に現任研修の充実
- 専門性を有する看護師(認定看護師)の必要性

地域における子どもの心の診療体制



地域における子どもの心の診療ネットワーク

本研究班が関与したシンポジウム、 研修会および作成したテキスト類

平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> 第94回日本小児精神神経学会(平成17年10月14・15日、名古屋)シンポジウム「子どもの心の専門家:理想の研修、私の研修」(共催)
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> 第102回日本精神神経学会(平成18年5月11、12、13日、福岡)シンポジウム「子どもの精神医療の現状と展望—専門医の養成を中心に」(共催) 第47回日本児童青年精神医学会(平成18年10月18、19、20日、幕張)シンポジウム「子どもの心の専門家を育てるために」(共催) 第53回日本小児保健学会(平成18年10月26、27、28日、甲府)シンポジウム「子どものメンタルヘルスを担う人材を育成する」(共催)
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> 第110回日本小児科学会学術集会(平成19年4月20、21、22日、京都)総合シンポジウム1「子どもの心の診療における小児科医の役割」(共催) 第103回日本精神神経学会(平成19年5月17、18、19日)シンポジウム「子どもの心の診療医をいかに養成するか」(共催) 第197回日本小児科学会新潟地方会(平成19年9月8日、新潟)特別講演(柳澤正義)「すべての小児科医は子どもの心の診療医」
	<ul style="list-style-type: none"> 第1回子どもの心の診療医専門研修会(平成19年3月17日、東京) 第1回子どもの心の診療医研修会(平成19年9月23日、東京)(共催) 第2回子どもの心の診療医専門研修会(平成20年1月13日、東京) 子どもの心を支える地域ネットワークの集い(平成19年9月6日、東京、平成19年11月15日、埼玉、平成20年1月12日、滋賀)(共催)
テキスト類	<ul style="list-style-type: none"> テキスト「一般小児科医に望まれる子どもの心の診療」 テキスト「一般精神科医のための子どもの心の診療基礎知識」 「子どもの心の診療医専門研修用テキスト」 「一般精神科医が子どもの心を診療するときの参考テキスト」

本研究成果の意義

- ① 実態調査の結果に基づいて、異なるレベルの専門性を有する「子どもの心の診療医」及び看護・コメディカルの教育・研修システムが提案された。
- ② テキスト等の作成、モデル的研修等が実施された。
- ③ 成果は、行政・関係学会・団体・医療機関等の取組に反映される。
- ④ 心の問題を有する子ども達に適切な医療がより広く、より専門的に提供される。
- ⑤ 子どもの心の問題への社会的関心に応えることのできる体制の構築は社会に安心感を与える。